

青年会議所保険部会

第30回臨時総会・30周年記念式典開催

新部会長に松本一成氏 「原点回帰と環境適応」スローガンに

青年会議所保険部会は、11月13日に東京都中央区の銀座アネックスビルで第30回臨時総会、11月14日に東京都新宿区のハイアットリージェンシーで30周年記念式典を開催した。2010年度の部会長に任命された松本一成氏は「10年度は、『原点回帰と環境適応』をスローガンに閉塞(へいそく)感のある保険業界に元気を与えられるような活動を心掛け、保険業界のレベルアップとステータス向上のために尽力していく」と所信表明した。

同部会の2010年度の「原点回帰と環境適応」で、テーマは「激変する業界にぶれない軸を」。事業計画は①研修会や対内外広報などによる、保険業界の未来を創造する事業の開催②同部会メンバー全員で行う会員拡大活動の実施など、会員拡大の推進③事務局運営の効率化と定着化など、効率的かつ、わかりやすい部会運営の3点を柱としている。



中央右から松本氏、塚本氏

09年度部会長の塚本徳明氏からバトンを引き継いだ松本氏は「激変する時代だからこそ、あるべき姿や存在意義、理論などを踏み外すことなく、しっかりと軸を持って経営していくことが大切だ。行政や保険会社との関係性や代理店の業態、サービス内容から消費者の意識や世論までが大きく変化の中で、当部会が存在意義を維持し続けていくためには、創始の理念を継承しながらも柔軟な環境変化への対応と消費者の視点に立った体制の構築が必要」と述べた。

松本氏は「一つ一つのお客さまの満足の積み重ねが、保険業界のイメージアップやステータスの向上につながっていく。一社でも多くの代理店がこのような意識を持って業務の質の向上に努めてお客さまに真の満足を提供することで、保険業界全体に貢献することが必要だ」と強調して、同部会として業界のイメージアップのメッセージを発信していく意向を表明。

「保険業界全体に目を向けて、業界のために考え動ける仲間を増やす」を10年度の最大のミッションに掲げた。